

# 竹原管内景況調査

## 3月の景況DIは、製造業・非製造業とも大幅に上昇

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、平成31年3月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

### 調査概要

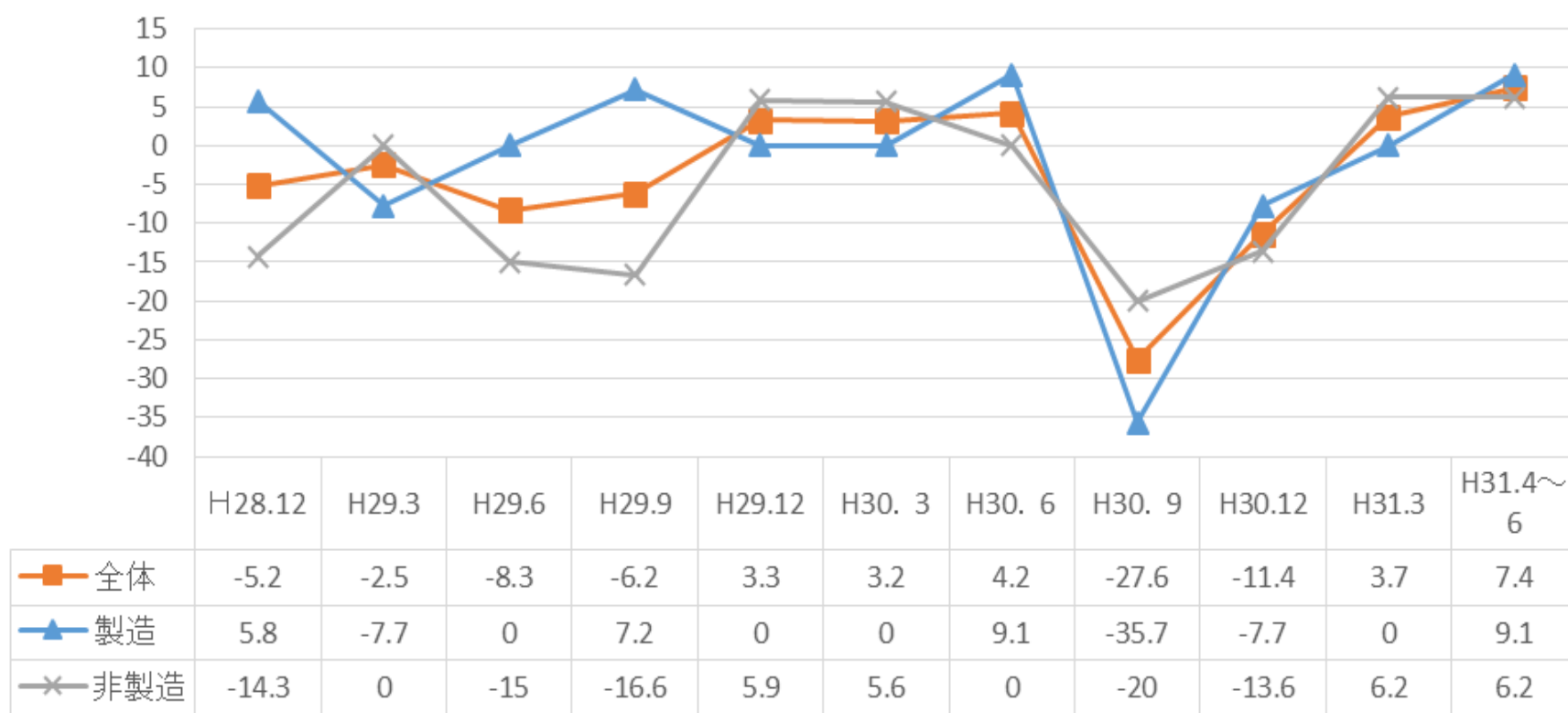
【調査時期】  
四半期毎に調査(年4回実施)  
【調査期間】  
平成31年3月  
【調査対象】  
当所会員

### 回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	17	11
建設	6	3
小売	13	7
サービス	17	6
合計	53	27

## ●全産業におけるDI値

### 景況DIの推移



3月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は7.7ポイント好転し、非製造業は19.7ポイント好転しています。3月と比べて4月～6月までの見通しは、全体では、3.7ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

## ●景況が好転(悪化)した理由について

### 《製造業》

- ・取引先は変わらず。新規取引先に対しては値上げしている。
- ・米中貿易摩擦の影響で受注が減少。

### 《小売業》

- ・顧客減少による売上減と購買意欲の減少。
- ・昨年のビール値上げの駆け込み需要の反動が予測され、前年対比減少の見込み。

### 《建設業》

- ・西日本豪雨災害による災害復旧工事が発注されたことによる。

## ●2019年度の業界動向の見通しについて

### 《製造業》

- ・ゆうパック、宅配便の送料や資材(ダンボール)の値上がりに対応する為、販売価格を上げる。
- ・災害復興のための車両の不足が心配。(資材)

### 《小売業》

- ・繊維関係の小売りは見通しはとても厳しいと感じている。
- ・近隣にドラッグストアがオープン予定なので、少なからず影響があると予測している。
- ・TPPで輸入牛肉の価格が下がり、高値が続いている国産牛肉の価格が下がるかもしれない。
- ・4月より清酒メーカー値上げを予定、消費税などの懸念がある。

### 《建設》

- ・引き続き災害関連の工事が発注されて好況であると推移される。

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)